

令和5年度 消防本部 重点施策の実施結果

達成
状況

S… 目標を上回る結果となった
A… 目標通り達成した
B… 達成したが課題が残っている
C… 達成できなかった

総 括

・応急手当の必要性について、市民のニーズに応じたe-ラーニング講習会を開催するなど、応急手当の普及に取り組みました。また、各種災害を想定した訓練などを実施し、資機材の習熟や関係機関との連携強化に取り組みました。

・火災予防については、市民への火災予防広報や事業所の防火・保安管理の強化に取り組みました。

・消防団ポンプ自動車の更新や災害対応資機材の整備、耐震性貯水槽の整備を行い、消防力の基盤強化に取り組みました。なお、資機材搬送車については、更新が完了できなかったため、令和6年度に更新が完了するよう進めてまいります。消防指令センターのシステム全更新については、引き続き令和7年4月1日運用開始に向け、事業を進めてまいります。

・消防団員の活動環境の整備については、消防団協力事業所の増加や広報誌の発行、SNS等による消防団活動のPRを進め、令和5年4月1日の団員数262人から令和6年4月1日は273人と11人の増員となりました。なお、準中型免許取得補助については、年度内の取得ができなかった団員もいたため、目標の10件を達成することができませんでした。今後は、準中型免許取得者の増員を図るため、早期に団員への周知を行ってまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	応急手当の普及 啓発と災害対応 能力の向上 (消防署)	市民のニーズに応じたWebによるe-ラーニングを取り入れた講習会や参加しやすい定期的な救急講習会を開催していきます。また、消防、救急資機材の操作の習熟や様々な災害を想定した実践的な訓練の実施とともに、消防団や静岡県消防防災航空隊、警察などとの合同訓練及び各医療機関との事後検証会等で、連携の強化と現場活動の正確性を高めていきます。	①e-ラーニングを取入れた普通救命講習会を5回以上開催します。 ②各種災害を想定した訓練を1,200時間以上実施します。	A	①SNSやホームページでの案内に加え電話等での受付毎にe-ラーニングを取入れた講習会の案内を実施し、11回開催しました。 ②消防、救急資機材の操作の習熟を図るとともに、各種災害を想定した訓練を1,224時間実施しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
2	火災予防の推進 (予防課)	住宅用火災警報器の設置・維持管理の啓発及び幼年消防クラブや消防団と連携した火災予防広報を実施します。 また、事業所等への立入査察や防火・保安管理の指導を行い、火災の未然防止と被害軽減に努めます。	①住宅用火災警報器の設置・維持管理について、戸別指導を前年度以上実施します。 (令和4年度実施件数：1,011世帯) ②消防体験イベント「わくわく消防体験プログラム」を開催します。 ③防火対象物及び危険物施設の立入検査を前年度以上実施します。 (令和4年度実施件数：防火対象物 220施設、危険物施設 165施設)	A	①住宅用火災警報器の設置及び維持管理の戸別指導を、1,013世帯に実施しました。 ②「わくわく消防体験プログラム」は、熱中症対策を講じた上で開催し、165人が参加しました。また、消防団や幼年消防クラブ員と合同で市民への火災予防の呼び掛けを行いました。 ③防火対象物及び危険物施設への立入検査（防火対象物221施設、危険物施設165施設）及び講習会を実施しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
3	消防力の基盤強化 (警防課)	各種災害への対応に備え、資機材搬送車及び消防団消防ポンプ自動車を更新するとともに、災害時に迅速に対応するための資機材の整備及び消防水利を確保するための耐震性貯水槽の整備を進めることで、更なる消防力の基盤強化を図ります。 119番通報からの出動指令及び情報伝達を正確かつ迅速に実施することが市民の皆さまの生命・身体及び財産を守ることに繋がるため、中東遠消防指令センターの指令システム全面更新を進めます。	①資機材搬送車 1 台及び消防団消防ポンプ自動車 1 台を更新します。 ②災害対応資機材を整備します。 ③耐震性貯水槽 2 基を整備します。 ④指令システムの全更新に向けた中東遠指令センターの改修及び令和 7 年 4 月 1 日の運用開始を目指して作業部会に参加し、負担金を支払います。	C	①消防団消防ポンプ自動車は、計画通り更新が完了し、地域防災力の強化に繋げることができましたが、資機材搬送車については、半導体部品の供給不足により車両の生産が遅れ、年度内の納車が不可能となり予算を次年度に繰り越しましたので、目標を達成に至りませんでした。引き続き令和 6 年度の早期納車に向け、事業を進めていきます。 ②災害対応資機材の整備を完了しました。 ③耐震性貯水槽を中内田地内と高橋地内に整備しました。 ④令和 7 年 4 月 1 日に運用開始を予定している消防指令システムの全更新に向け調整を図り、負担金を支払いました。 確実な災害対応ができるよう、今後も車両及び資機材等の整備を計画的に行ってまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
4	消防団の活動環境整備（消防総務課）	新入団の希望者の増加と併せ、長く活動していただける団員が増えるよう、消防団員の活動環境整備を継続して実施するとともに、消防団消防ポンプ自動車を運転するために必要となる準中型免許の取得費用に対する補助金交付事業などを進めていきます。 また、消防団の活動が効率的に行われ、迅速な災害対応が可能となるよう、老朽化が進んでいる消防団蔵置所の建て替え等について、消防団本部や自治会等の皆さまにご意見を頂きながら検討を進めていきます。	①消防団協力事業所を前年度事業所以上とします。 （令和5年3月末実績：35事業所） ②準中型免許取得費用補助金を10件以上交付します。 ③広報誌、SNS等による消防団活動のPRを5回以上行います。	C	①消防団協力事業所は2事業所の新規加入により合計37事業所となり、目標数を達成しました。 ②菊川市消防団員準中型自動車運転免許取得事業費補助金は、12件の申請がありましたが、3名の団員が年度内に免許が取得できなかったことから、9件の交付にとどまり目標数を達成できませんでした。 ③広報誌、SNS等による消防団活動のPRを7回実施し目標数を達成しました。 今後も入団者が増えるように、消防団員の活動環境整備、処遇改善及び負担軽減を進めていきます。